

親鴨会会長メッセージ

2019年10月31日
親鴨会会長 内池 正名

10月26日(土)から27日(日)の二日間、IBM天城ホームステッドを会場にして本部、関西支部、中部支部から会員41名が集結し「親鴨会会員は社会にどう貢献していけるのか」と題したセミナーを開催しました。

多くの会員が、在職中に培った知識・経験や、退職後の学び直しで得た新しい知見を加えて多様な分野で貢献活動を続けています。今回参加した皆さんからの経験を共有することで、新たな活動領域への広がりや、IBMとの連携の可能性についても考えてみたいと思った次第です。

北城さん、下野さん、社会貢献の下村さん、大津さんのプレゼンテーションに続き、親鴨会の高田さん、稲富さんの活動経験談からセミナーを開始しました。

以降、参加者によるワークショップを行い、「保育・教育」「環境・街づくり」「技術支援・次世代リーダー育成」「障害者・高齢者支援/連携」の4つのグループに分れ、活動の経験や課題の抽出などを議論し、IBMとの連携の可能性を含め、今後の活動のアイデアと計画をまとめました。まだまだ活動の詳細化や広く親鴨会会員の皆様への周知が必要ですが、息の長い活動のスタートを切ることが出来たと考えています。

食事・懇談の時間では久しぶりにお目に掛かるOB/OGの方々とのコミュニケーションも意義深い時間でした。15年振りの天城ホームステッドの空気感は以前と変わりません。

天城ホームステッドのスタッフの皆さんに支えられ、素晴らしい環境で効果的な議論を進めることが出来たことを感謝しながら、天城を後にしました。